

高架下利用に関する市民ニーズ調査報告書 (概要版)

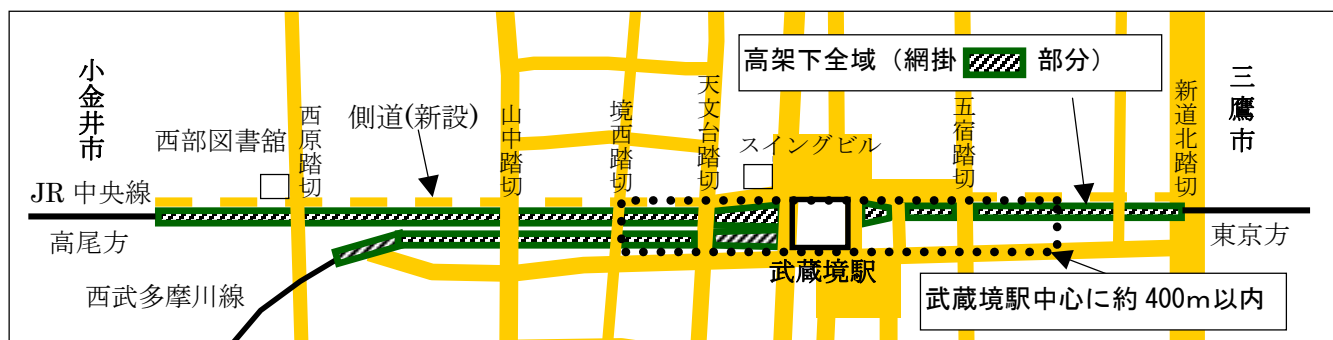
調査の目的

武蔵野市では、JR中央本線、西武多摩川線の連続立体交差事業により武蔵境地域に新しくできる高架下空間の利用について、平成18年10月より「高架下利用調査検討委員会」を立ち上げ、市内で検討を進めている。

高架下空間の多目的利用は、沿線住民だけでなく、まちづくりにとって重要な要素になる。そこで、市民及び日ごろ武蔵境地域においてまちづくり活動を行っている関連団体の方々の意見や要望等のニーズを把握し、地域に適した有効な高架下利用の可能性を増進させるため、アンケート調査を実施した。調査結果は、今後「高架下利用調査検討委員会」などで、市の高架下利用の基礎資料として活用していく。

調査の概要

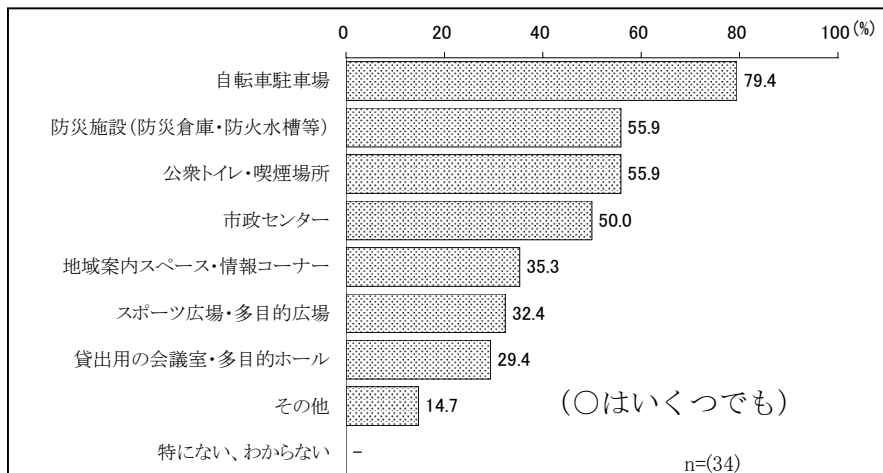
調査名	境地区関連団体への高架下利用に関するアンケート調査	市民への高架下利用に関するアンケート調査
調査対象	武蔵境地域の関連団体	市内在住の満20歳（平成19年2月1日現在）以上の方1,670人
調査方法	説明会開催配布－郵送回収法	郵送配布－郵送回収法
調査期間	平成19年3月12日～3月26日	平成19年3月5日～3月19日
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) 高架下全域に希望する公共施設 (2) 武蔵境駅中心に約400m以内の高架下部分に希望する公共施設 (3) 自由意見 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 対象者の属性 (2) 武蔵境駅の利用頻度 (3) 武蔵境駅の利用目的 (4) 武蔵境駅までの主な交通手段 (5) 高架下全域に希望する公共施設 (6) 武蔵境駅中心に約400m以内の高架下部分に希望する公共施設 (7) 自由意見
回収結果	標本数 42団体 回収数 34件 有効回収率 81.0%	標本数 1,670人 回収数 729人 有効回収率 43.7%



高架下全域に希望する公共施設

◎第1位は自転車駐車場、第2位は防災施設（防災倉庫・防火水槽等）

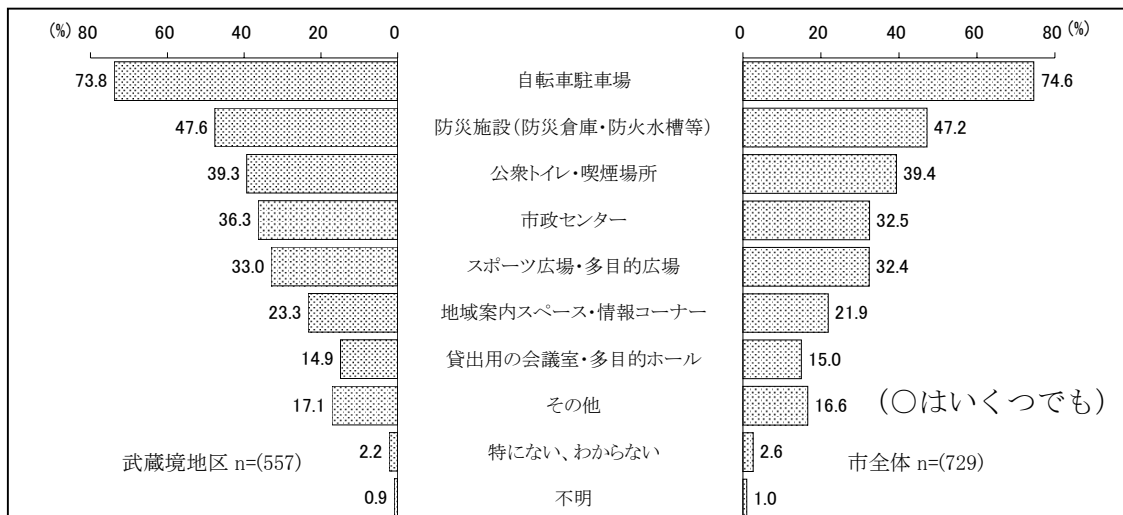
●団体アンケート調査結果



高架下全域に希望する公共施設は、「自転車駐車場」が79.4%で最も多く、以下、「防災施設（防災倉庫・防火水槽等）」、「公衆トイレ・喫煙場所」、「市政センター」、「地域案内スペース・情報コーナー」の順で続いている。

団体の種類別にみても、商店街において顧客の利便性・安全性を高めるための「公衆トイレ・喫煙場所」、「防災施設」の要望が高いものの、「自転車駐車場」の希望はどの団体からも高いものとなっている。その他の施設については、団体により希望に偏りがみられた。

●市民アンケート調査結果



高架下全域に希望する公共施設は、市全体では「自転車駐車場」が74.6%で突出して多く、以下、「防災施設（防災倉庫・防火水槽等）」、「公衆トイレ・喫煙場所」、「市政センター」、「スポーツ広場・多目的広場」の順で続いている。武蔵境地区*も市全体と順序は同じだが、武蔵境地区のほうが「市政センター」の希望がより高い結果となった。

性別、年齢別、駅利用頻度別、交通手段別に分析を試みたが、どの分類においても「自転車駐車場」が最も希望が多く、分類による偏りもほとんどみられなかった。

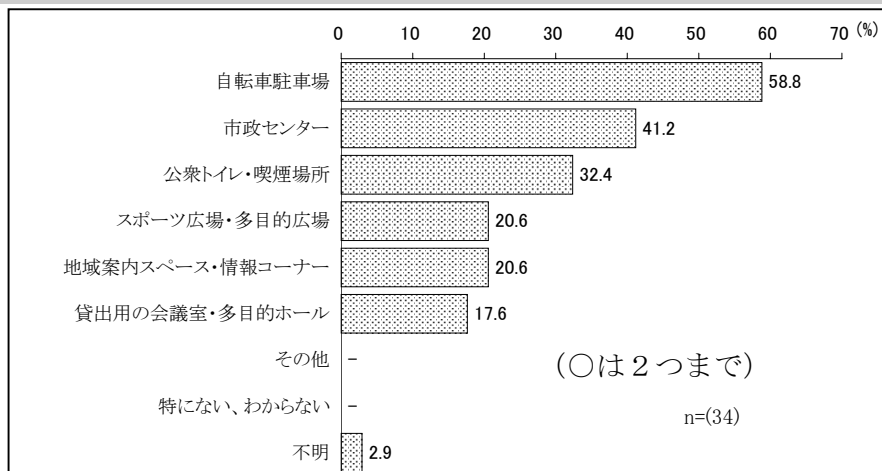
※武蔵境地区：関前、境、境南町、桜堤



武蔵境駅中心に約400m以内の高架下部分に希望する公共施設

◎自転車駐車場、市政センターの希望が高い

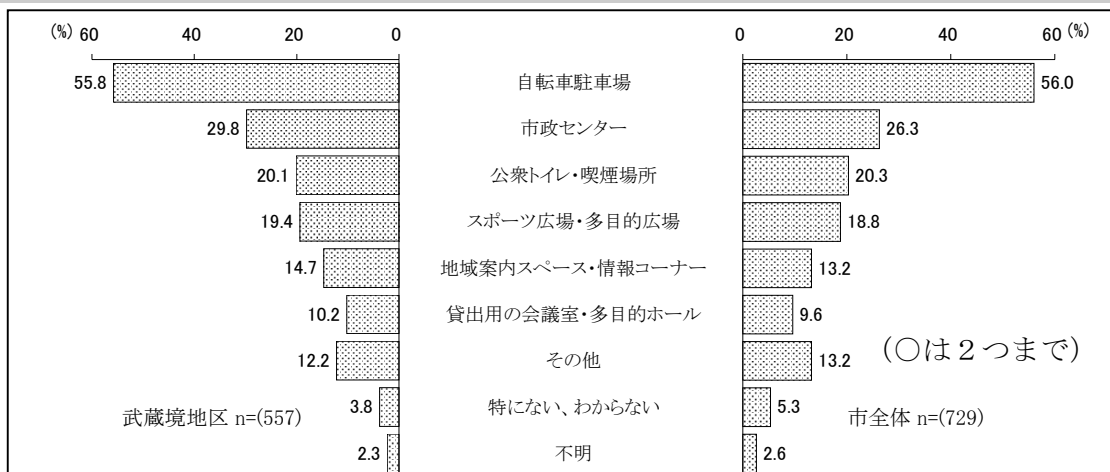
●団体アンケート調査結果



武蔵境駅中心に約400m以内の高架下部分に希望する公共施設は、「自転車駐車場」が58.8%で最も多く、次いで「市政センター」、「公衆トイレ・喫煙場所」、「スポーツ広場・多目的広場」、「地域案内スペース・情報コーナー」の順で続いている。

団体の種類別にみても、「自転車駐車場」の希望は多くの団体で高いものとなっている。また、「市政センター」も「自転車駐車場」ほどではないが、多くの団体で高い希望となっている。その他の施設については団体により偏りがみられた。

●市民アンケート調査結果



武蔵境駅中心に約400m以内の高架下部分に希望する公共施設は、市全体では「自転車駐車場」が56.0%で突出して多く、以下、「市政センター」、「公衆トイレ・喫煙場所」、「スポーツ広場・多目的広場」の順で続いている。武蔵境地区も市全体と順序は同じだが、高架下全域と同じく、武蔵境地区のほうが「市政センター」の希望がより高い結果となった。

性別、年齢別、駅利用頻度別、交通手段別に分析を試みたが、どの分類においても「自転車駐車場」が最も希望が多く、分類による偏りは高架下全域と比較して大きくなったものの、大きな変化はほとんどみられなかった。その他の施設においても、高架下全域と比較して偏りは大きくなったが、その傾向は大きく変わっていない。

●高架下全域に希望する公共施設

2つの調査により、高架下全域に希望する公共施設は、1位が「自転車駐車場」、2位が「防災施設」、3位が「公衆トイレ・喫煙場所」、4位が「市政センター」となった。団体アンケートでは、5位が「地域案内スペース・情報コーナー」、6位が「スポーツ広場・多目的広場」で、市民アンケートでは5、6位が逆になり、7位は「貸出用の会議室・多目的ホール」となった。2つの調査で公共施設の希望順位に大きな差はみられなかった。

「自転車駐車場」は、団体アンケートのほとんどの団体、市民アンケートの性別や年齢別、地区別等の集計で1位、「防災施設」も団体アンケートのほとんどの団体、市民アンケートの各種集計で2位になり、安定した希望があった。「市政センター」、「公衆トイレ・喫煙場所」は、市民アンケートの年代別や地区別、利用頻度別等で希望のばらつきがみられた。

●武蔵境駅中心に約400m以内の高架下部分に希望する公共施設

2つの調査により、武蔵境駅中心に約400m以内の高架下に希望する公共施設は、1位が「自転車駐車場」、2位が「市政センター」、3位が「公衆トイレ・喫煙場所」、4位、5位が「スポーツ広場・多目的広場」、「地域案内スペース・情報コーナー」、7位が「貸出用の会議室・多目的ホール」となり、2つの調査で希望順位にほとんど差がみられなかった。

高架下全域に希望する公共施設と同様に、各種集計においても上位の「自転車駐車場」と「市政センター」は安定した希望があった。その他の施設については、主に年齢別・地区別で違いがみられた。

また、選択肢以外で希望する施設として、「商業施設、テナント」、「駐車場」、「託児所、保育施設」などが挙げられていた。

●施設の検討にあたって

地域で活動している関連団体で実施した団体アンケートでは、各施設の希望が団体により偏りが見られるものの、全体的には市民アンケートに比べ偏りが少なくなっている。このことから、市民や地域との協働によるまちづくりが活発になればなるほど、多様な施設のニーズが生じることが予測できるので、多くの施設の可能性を検討する必要がある。

一方、市民アンケートでは各施設の希望が、主に年齢層別、地区別で差がでる傾向を示しており、今後の少子高齢化社会と武蔵境の地域性考慮の重要性を示している。

また、自由意見欄では高架下以外の場所での施設の状況や有効利用、施設の利用動線と配置、費用対効果、民間活用等について意見が見られた。

今回の調査より、アンケートに記載された公共施設や自由意見欄で要望のあった施設（商業施設・テナント、託児所・保育施設、駐車場等）の検討にあたり、上記事項を参考にすると共に、武蔵境地区全体のまちづくりに十分配慮していく。